

授業科目	小児看護学援助論Ⅱ	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者	実務経験
		2年次	1	30		河瀬こずえ	有
授業概要	健康障害をもつ子どもと家族への看護過程の展開方法および小児看護に必要な看護技術を学ぶ。						
回数	授業計画・授業内容						授業方法
1	Ⅰ. 子どものケアに必要な看護技術						講義
2	Ⅱ. ケアを受ける子どもへの説明と同意						講義
3	Ⅲ. 子どもへのプレパレーション プレパレーションの概念 プレパレーションの実際						演習
4・5	Ⅳ. 日常生活援助に必要な看護技術 清潔・栄養・排泄・睡眠・感染予防・衣生活・環境の調整						演習
6 7 8 9 10 11 12 13	Ⅴ. 子どもの看護過程の展開 (20時間)      10グループ (各4～5名) ねらい: 健康障害をもつ子どもと家族の看護過程の展開を学び、その特徴が理解できる。 ・知識を統合し、子どもと家族への当面の看護方針が明確にできる。 ・看護方針をもとに行動と刺激のアセスメントをし、問題を明確にできる。 ・子どもと家族のセルフケア力を判断し、目標と介入計画を立案できる。						演習
14・15	発表 試験						
テキスト	小児看護学1・2 / 医学書院						
評価方法	事前学習・グループワークの取り組み・出席状況・ レポート課題 6割      試験 4割						
先修条件	疾病治療論Ⅷ      ・      基礎看護学9科目を履修						